

第260回 謳粹会の記

令和4年6月9日(木) 1

8:30~

第260回謳粹会が6ヶ月ぶりにやっと開催出来た。第259回は令和3年12月9日に22ヶ月ぶりの開催だった。12月9日の全国の感染者数は165人、東京は17人と落ち着いていた。その後感染の第6波が牙をむき出し1月13日に13人で予定していた開催を1月8日に中止した。感染者は12月後半から増えだし1月に入ると数千人単位となり、2月3日には20万人近くとなった。その後ワクチンの3回目接種が急いで行われ感染者数は横ばい状



態から徐々に減ってきた。マスクの着用、三密の回避など行動制限が続いた。5月連休明けから行動制限は無くなり、マスク着用緩和指針が発表され、入出国の感染検査が緩和された。今日の全国の感染者数は17738人、東京は1876人ある。第4回ワクチン接種が始まった。

コロナ禍で心晴れない中、2月24日ロシアがウクライナに侵攻した。侵攻から100日が過ぎた。ロシア軍がウクライナ東部ルハンスク州の要衝都市セベロドネスクの制圧に向け集中攻撃が続いている。ウクライナ軍を孤立させるため橋を破壊している。また世界の穀倉地帯であるウクライナ穀物輸出拠点の黒海沿岸をロシアに封鎖され、アフリカなどで食糧危機を招いている。

今回の参加者は13名。お店は長戸琴さん推薦の池袋ホテルメトロポリタン2階「花むさし」である。定刻には皆の顔が揃った。和服を着た仲居さん2名がグラスに乾杯用ビールを個々に注いでくれる。気配りを感じる瞬間だ。久しぶりの開催を愛で、盃を合わせた。お酒は、瓶ビール、日本酒(白鶴)、焼酎、ワイン、



ウィスキー、カクテルなど飲み放題である。先付(新緑豆腐・穴子寿司・いちじく・白和え・鶏松風・新じゃが芋網揚げ・さざえ酒煎りもずく和え・おくら土佐煮・枇杷玉子)が運ばれ各自好きなお酒を注文する。私の近くは常温日本酒の二合とっくりをお願いした。白鶴に余り期待していなかったが爽やかですっきりした喉ごしで旨い。盃を重ねていると氷水が黙って運ばれてきた。注文しようと思っていたのに、先手を打たれた、心地よい。沢煮仕立て(地鶏霰揚げ・人参・牛蒡・椎茸・うど・みつ葉)、お造り、若鮎塩焼き(蓼酢・茗荷酢漬け)、米

茄子クリーム田楽（海老・アスパラガス・帆立貝・トマト）、新生姜御飯（味噌椀・香の物）、デザート（抹茶プリン・かすてら・フルーツ）と大満足であった。

次回、第261回謳絆会は令和4年7月14日（木）に開催される。

<廣瀬記>